

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870102898
法人名	株式会社 ケアセンターとかじ
事業所名	グループホーム清風
所在地	松山市味酒町1丁目9番地15
自己評価作成日	平成21年11月20日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年12月2日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

残存機能をよく理解し、利用者様のADLの低下を出来るだけ先延ばしするために口腔体操やリハビリ体操などを多く取り入れている。職員全員が利用者様とコミュニケーションをよくとるようにしている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

年1回、ご家族・利用者・職員が集う食事を市内ホテルで開催し、今年も80名近くの参加があった。ご家族の来訪時に利用者ご本人の様子等を報告され、ご意見を聞くようにされている。  
地元から入居している利用者は、知人や友人の訪問があり、一緒にお茶を飲んだりおしゃべりして過ごされている。散歩の途中に近所のお店へ立ち寄り、お菓子など買われる方もある。ご家族と温泉や外食に行かれたり、法事に出席される方もある。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. <b>利用者の2/3くらい</b> 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. <b>毎日ある</b> 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. <b>利用者の2/3くらいが</b> 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. <b>利用者の1/3くらいが</b> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. <b>ほぼ全ての利用者が</b> 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム清風

(ユニット名) 4F

記入者(管理者)

氏名 阿部 真之介

評価完了日 21年 11月 20日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)  共有した理念の下、実践につなげている。	
			(外部評価)  「生命の質 人生の質 を大切に考える福祉を基本理念とする」という母体法人全体の理念を各ユニットの居間に掲示されている。新人職員研修時、管理者は理念について説明されて「今までの生活のこと、ここでの生活のこと、職員が気付くことが大事」と話されている。	地域密着型サービスとしての役割の大切さを管理者はよく理解されており、地域との連携にも積極的に取り組まれているが、母体全体の理念とともに、事業所の意義や目的等も踏まえて、全職員で地域密着型サービス事業所として目指すことを話し合い、事業所独自の理念や目標等を掲げて、実践につなげていかれてはどうか。
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)  地域の活動（運動会、文化祭、地域の清掃など）に積極的に参加している。また管理者が味酒地区の体育協会に入っており味酒地区での行事では役員として参加し準備から運営まで関わっている。	
			(外部評価)  年2回、地域の幼稚園の園児が事業所を訪れてくれており、利用者が作った折り紙の首飾りをプレゼントされた。又、職員が、幼稚園の節分の豆まき等の行事に参加して、鬼役をされる等交流が続いている。ホーム前の公園の清掃を公民館の役員の方や地元の方達とともにされている。利用者は地域祭にはお神輿が来るのも楽しみにされている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)  地域交流委員会を設立し、委員会時には話し合いを行い地域に役立てるよう取り組んでいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>2か月に1回開催し、地域の方や行政の方にも参加し て頂き、意見交換しその後のサービス向上に生かして いる。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議の際に、事業所内で利用者と共におやつ 作りをされたこともある。参加者からは、「栄養士 のお話も聞いてよかった」と感想をいただいた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>その都度市町村とも連携を取り協力関係を築いてい る。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>生活保護受給者の生活について、市の担当者の方に相 談されている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束マニュアルの作成、身体拘束廃止の勉強会を 通じて職員に周知徹底し、身体拘束しないケアに取り 組んでいる。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>法人内で委員会を設けて研修を企画されており、職員 で身体拘束廃止の勉強もされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  研修会の参加や、新人研修の際にも虐待予防のマニュアルから話している。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  現在対象者はおられないが、研修会に参加し活用できるようにしている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  十分に説明し納得していただき同意を得たうえで署名、捺印を頂いている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  苦情相談窓口を設けており、その旨を施設内に掲示している。また契約時にもその旨を説明しており、外部の苦情相談先も説明している。  (外部評価)  年1回、ご家族・利用者・職員が集う食事会を市内ホテルで開催し、今年も80名近くの参加があった。ご家族の来訪時に利用者ご本人の様子等を報告され、ご意見を聞くようにされている。	          年1回の家族会やご家族の来訪時には、ご本人の健康状態や暮らしぶり等について報告はされているが、ご家族が知りたいこと等も探り、事業所側からの定期的な報告について検討されてはどうか。事業所からの報告をすすめ、さらに事業所のサービスについて、具体的なご意見や要望を引き出していかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			日常において話をしながらおこなっている。	
			(外部評価)	
			職員は、日々の申し送りで情報の共有に努めておられる。2か月に1回、法人内事業所のリーダーが集まる会議があり、その中でいろいろ問題点等について話し合われている。	問題が生じた際、職員で話し合うようになっているが、定期的に職員が集まり話し合う機会も作ってはどうか。グループホームはチームケアが特徴でもあり、職員間の情報共有やチームワークを育てるためにも、職員が集まる場を作っていかれてほしい。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			日頃から職員一人一人と接し、適宜アドバイスしながら、またモチベーションが上がるような話を通して職場環境・条件の整備に努めている	
13		職員を育てる仕組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			グループホーム協会や外部の研修に参加している。会社内では入社時に新人研修を行い、定期的に内部で研修を行っている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)	
			現在相互研修はしていない。グループホーム研修や、地域包括の研修などで交流している。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>努めている。御家族とよく話し、不安や要望などには具体的なケアの内容を説明したり状況に応じてどうするのかなど、「安心してもらえる生活作り」に努力している。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>体調や気持ちを考慮しながら対応に努めている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>全員ではないが声かけし、一緒に家事に取り組んでいる。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>買い物や病院受診時、御家族に同行して頂いたり、電話で話をするなど日頃から協力し合って御本人を支えている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>散歩でなじみの店に行き、話をしたり、知人の方に来所して頂いたりしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>地元から入居している利用者は、知人や友人の訪問があり、一緒にお茶を飲んだりおしゃべりして過ごされている。散歩の途中で近所のお店へ立ち寄り、お菓子など買われる方もある。ご家族と温泉や外出に行かれたり、法事に出席される方もある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者様同士が居室を訪ねられたり、また別のユニットの利用者様を訪ねられたりしている。ホールや食卓で一緒に過ごされることも多い。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 場合により対応している。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 希望や意向の把握に努めている。 (外部評価) 入居時にお聞きしたことをフェースシートに記入されていた。「サマリー」に、ご本人と家族の希望が書かれていた。日々のお散歩や買い物等、なるべくご本人の意向を尊重して「行ける時に対応している」と職員は話しておられた。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 御本人や御家族と日頃から話をし、職員間でも情報を共有している。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 努めている。訪室や声かけを細かに行い、記録や申し送りノートに残し、全員で把握している。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は、半年ごとに見直しをされている。ご家族には、来訪時に見ていただいて希望をうかがっている。ご家族から「穏やかに生活して欲しい」等の要望があり、各ユニットのリーダーが、それらを踏まえて介護計画を立てておられる。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>活かしている。個別記録だけでなく、口頭や申し送りノートも使い業務に取り組んでいる。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>充分とは言えないが、出来る限り対応している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>支援出来ている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ほとんどの利用者は、母体病院がかかりつけ医であり 2週間に1度、往診があり、24時間、医師、看護師 が対応してくれるようになっている。又、歯科・眼科 の訪問診療もある。皮膚科受診時には、職員が同行さ れている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>文書や口頭で連絡を取り合って支援している。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>行っている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>御家族とは医療機関の協力を得ながら話し合っている が、地域の関係者とはまだ支援に課題が残る。</p> <p>(外部評価)</p> <p>事業所で重度化・看取り支援の指針を作成し、入居時 に事業所でできることについて説明をされている。こ れまでに、一人の利用者が事業所で「最期までお願い したい」というような希望があったが、最期は病院で の看取りとなった。状態変化時には、母体病院の医師 も含めて今後のことについて話し合っておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	自社のマニュアルにより全員が把握している。また救命講習にも参加している。
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	定期的な訓練を行っている。また地域の方にも協力して頂けるよう町内会長さんや民生委員さんを中心に話し、協力体制を築いている。
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	出来ている。
			(外部評価)	
			ドアの開け閉め、入室時のロックなど日々注意するように管理者は職員に話しておられる。職員は利用者にお薬を配る時、一人ひとりの名前を呼んで確認して服薬支援されていた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	出来ている。入浴や散歩、飲み物や衣類など御本人に確認を摂りながら、希望に沿うように努めている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)  出来ている。必ず御本人に確認し支援を行っている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)  出来ている。御家族からの希望にも合わせ普段と特別な日の服装を変えたりしている。また御本人様に見てもらい選んで頂くことも多い。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)  している。御自分の使った食器を盆にのせること、御自分のテーブルを拭くことなどから食器の片付けまで出来ることに差はあるが殆どの方が参加し行っている。	
			(外部評価)  食事のメニューは母体病院の栄養士が立てて、食材は近所のスーパーから届くようになっている。お茶碗によそうご飯を計量されており、利用者個々の摂取量が決められている。青魚のアレルギーのある方には、白身魚に代替えされていた。利用者の状態によって、自助具のスプーンやお皿を使用されている方も見られた。利用者の状態に応じて食器も軽いものを使用しておられる方もある。ピンク色がお好きな方にはピンク色の茶碗を用意される等、茶碗とコップはそれぞれ個別のものを使用されていた。	利用者の誕生日には食事の意向をお聞きして、お寿司等を探り入れておられるが、日常の食事の中でも、利用者のご希望に合わせた食事作りができるような工夫はできないだろうか。利用者個々が食事を楽しむ支援について工夫できることはないか、職員で話し合ってみてはどうだろうか。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)  出来ている。メニューは管理栄養士の作成したものに基つき調理、摂取量も確保できている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)  行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>その方の排泄パターンに合わせてトイレ誘導を行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員とともに体操（失禁体操）を行ったり、日々の記録で個々の排泄のパターン等の把握に努め、支援されている。昼食後、職員は利用者にさりげなく声かけしてトイレ誘導され、利用者は手押し車でトイレに行かれていた。おむつ交換の研修を介護用品メーカーから講師を招いて行われた。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食事の際声かけにて出来るだけ召し上がって頂いている。また散歩やリハビリ体操も毎日ではないが行っている。</p>	
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>基本的な入浴日は決めているが希望により変更を行い、対応している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>週3回は入浴できるようすすめておられる。午前と午後にお湯を入れ替えて、一番風呂を好まれる方等も希望に沿って入浴できるようにされている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>生活習慣を尊重し、行っている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 努めている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 出来るだけ努力はしているが、体調や認知度の度合いで難しい方には訪室して職員が話をしたりする。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 散歩や外泊など御家族の協力を得られている。また外出行事や地域の行事にも参加できるよう支援している。	
			(外部評価) 日々のお散歩は、近くの公園や堀之内公園等に出かけておられる。年間計画を立てて「ドライブレク」に出かけておられ、最近では伊予市の「いよっこら」で地元産品の買物が人気だったようである。お正月には初詣に行き、お食事をして帰られたり、ご家族と外食に出かける方もある。	体調のこともあり「ドライブレク」に参加できない方もあるようだ。「外出する機会が少なくなっているような方の楽しみごとを見つけていきたい」と職員も考えておられた。ちょっと外気に触れて、気分転換ができるような機会は作れないだろうか、利用者個々の行きたいところをお聞きしたり、ご家族とも相談され、外に出る機会を増やしていかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 御自分で管理し使われる方もいるが、事務所内にて預かっている方もいる。その方は外出時にお渡しできる体制を作っている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)  工夫している。	
			(外部評価)  各ユニットの入り口と、下駄箱の上に小物でクリスマスの飾りが飾られてあった。エレベーターの入り口に避難経路を示す図が貼られてあり、壁には理念、長寿の心得が額に入れて掲示されていた。居間にはテレビやソファもあり、それぞれが好みの場所で過ごされていた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)  ホールや食卓にはその方が落ち着ける場所があり、安心して過ごして頂けるように工夫している。	
			(外部評価)	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)  使い慣れた家具や物を持ってきて頂き、環境を作っている。また配置なども御本人と相談しながら決めている。	
			(外部評価)  鏡台や茶箆筒を持ち込まれたり、犬がお好きな方は、犬の写真入りのカレンダーやポスターを貼っておられる。以前、ご自分で編んだカバーがかかっているクッションや、自作のパッチワークのベッドカバーを使っている方もある。ちぎり絵のお好きな方は作品が部屋いっぱい飾ってあった。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)  工夫している。居室内はもちろんだが共有空間も家具の配置など気をつけている。必要に応じて日中と夜間の配置を変え事故のないように工夫している。	
			(外部評価)	